



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.683 2023.6.21

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅東口地区まちづくりは 住民の合意で

区議会第2回定例会

のの山けん
区議が
個人質問



質問する、のの山区議 = 6月21日

21日、区議会第2回定例会で個人質問に立ち、赤羽駅東口地区のまちづくりについて区の見解を問いました。(のの山けん = 裏面に概要)

まちづくり懇談会の 継続的開催を

私は、山田区長が施政方針で掲げる「100年先を見据えたまちづくり」、「みんなで創るまちづくり」を

赤羽駅東口地区のまちづくりについて、まちづくり協議会では「まちづくり提案」の最終とりまとめの段階に入っています。
一方、北区は今年度から2カ年で、赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画を策定するとしており、すでに、3月にはプロポーザルで民間事業者に計画策定業務を委託しています。

情報公開という点では、区が東口周辺の大規模公共施設の更新等整備に関する検討を行う庁内検討会を設

公共施設再配置の 検討結果公表せよ

実現するためには、住民合意と透明性を確保するための情報公開こそ必要だと提起。まちづくり提案に広範な住民の意見を盛り込むためにも、5月に開催して大きな成果を得た「まちづくり懇談会」を、提案とりまとめの前に、さらに継続して開催するよう求めました。
区は、「協議会からは、『今後も同様の取り組みを進めていきたい』との決意も示されているので、区としても積極的に支援していく」と答えました。

置し、一昨年度と昨年度には民間事業者に委託して公共施設の再配置検討を行ってきたことを指摘した上で、これらの検討内容と調査結果を地域住民に公開すべきと求めました。
区は、「不確定・未確定な要素を多く含み、住民に誤解や心配を招く恐れがあるので、公開する予定はない」と答弁。私は、「公表しないことで、かえって誤解や心配が生まれる。調査をしたならしっかり情報共有すべき」と訴えました。



どうなる？ これからの赤羽 のの山区議の 個人質問概要

赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画の策定プロセスは

Q. 区は、今年度から2カ年で「赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画」を策定するとしているが、どのタイミングでパブリックコメントを実施するかなど、計画策定業務プロセスの全体像を示せ。

A. 学識経験者や地域関係団体、学校PTA等の方に参画いただく検討会を設置し、本年秋には土地利用の概ねの方針を中間報告としてまとめる。来年度に「基本計画（案）」をまとめ、パブリックコメント実施の上、決定していく。

住民の提案を尊重した「まちづくり基本計画」に

Q. 基本計画策定業務を民間事業者に委託をしているが、プロポーザル要項には住民がまとめるまちづくり提案を「参考にすること」とある。まちづくり提案は「参考」程度ではなく、第一義的に尊重されるべきものではないか。

A. 委託事業者は計画策定の上では、区の指示に基づいて補助作業を行うものであり、基本計画の策定主体は区になる。「まちづくり提案」は住民の議論の結集と受け止めているので、検討会でも最大限尊重していきたい。

赤羽小学校や赤羽公園の移設はあるのか

Q. 「地域の拠点施設」と位置づける赤羽小学校や、赤羽会館、赤羽公園など周辺の公共施設の効果的・効率的な更新方策についても提案を受けるとしているが、区として、これらの施設の移設や統廃合は考えているのか。

A. 再開発事業による赤羽小の教育環境への影響は、各準備組合の施設計画等が未定のため、移転の必要性といった具体的な判断には至っていない。赤羽公園等の再配置については、基本計画の検討の中で慎重に判断していく。

タワーマンション型市街地再開発の見直しを

Q. 赤羽小や周辺商店街への影響を最小限に抑えるためにも、「第二・第三地区」の市街地再開発計画は、タワーマンション型の開発ではなく、身の丈再開発や修復型まちづくりの誘導で「赤羽らしさ」を残すよう求めるべきでは。

A. 区としては、駅前の好立地の土地利用において、市街地再開発事業を採用した土地の適正な高度利用を行うことは必要と考える。一方で「赤羽らしさ」という点については、非常に大切な視点として準備組合で検討されている。

区政報告会にお越し下さい

今回の個人質問の詳細を、のの山けん区議がお話しします。お気軽にご参加下さい。

と き 7月1日(土)14:00~15:30

ところ 赤羽会館4階第7集会室

